

財務ハイライト

平成19事業年度決算

■貸借対照表の概要

(単位：億円)

資産の部		負債の部	
		資産見返負債	569
		借入金	288
		長期未払金	152
		寄附金債務	129
		未払金	233
		その他	70
		負債合計	1,441
		純資産の部	
		資本金	2,445
		資本剰余金	80
		利益剰余金	142
		当期末処分利益	62
		純資産合計	2,729
		負債・純資産合計	4,170
資産の部			
土地	1,660		
建物等	1,362		
備品	229		
図書	318		
投資有価証券	42		
現金及び預金	65		
有価証券	360		
未収入金	59		
棚卸資産	4		
その他	71		
資産合計	4,170		

(中央)総合研究棟改修(人文系)
 (吉田)耐震対策事業
 (桂)船井哲良記念講堂 他
 約625万冊所蔵
 約3万冊(約5億円)増

未払金相当約233億円
 寄附金約129億円等

センター債務負担金
 約278億円
 長期借入金 約10億円

PFI事業の未払金
 総合研究棟V(桂)
 福利・保健管理棟(桂)
 総合研究棟(南部)
 農学部総合館(北部)
 改修

これまで「資本」と表示
 していましたが、今年度
 より「純資産」と表示す
 ることになりました。
 国から出資された土地、
 建物、備品等の見合い額

16～18年度の利益剰余金
 19年度の利益剰余金
 =当期総利益

平成19事業年度末の貸借対照表の概要は上記のとおりです。これに関連して、特筆すべき点は以下のとおりです。

■建物等 1,362億円(74億円増)

建物等約1,362億円は、建物等の取得価格約1,798億円から減価償却累計額約436億円を控除した額です。

平成19事業年度は、施設整備事業として行った(中央)総合研究棟改修(人文系)及び(吉田)耐震対策事業等と、寄附による(桂)船井哲良記念講堂等により約156億円の増となった一方で、減価償却累計額が約82億円の増となっています。

■備品 229億円(39億円増)

備品約229億円は、備品の取得価格約557億円から減価償却累計額約328億円を控除した額です。

平成19事業年度は備品が約113億円増加した一方で、減価償却累計額が約74億円の増となっています。

■図書 318億円(5億円増)

本学にとって重要な財産のひとつです。平成19事業年度は約3万冊の増冊で、年度末の蔵書は約625万冊となっています。

■現金及び預金 65億円(312億円減)

有価証券 360億円(350億円増)

寄附金残高が約129億円、未払金相当額が約233億円であり、その他は物件費、人件費の繰越分等となっています。

※従来「現金及び預金」として整理していた譲渡性預金を「有価証券」として表示しています。

■借入金 288億円(31億円減)

借入金には、国立大学財務・経営センター債務負担金(約278億円)と長期借入金(約10億円)があります。

国立大学財務・経営センター債務負担金は、法人化以前に財政投融资資金を財源として取得した附属病院の資産等にかかる借入金で、償還期限は平成37事業年度です。

長期借入金は、法人化後、附属病院の設備充実のため国立大学財務・経営センターから借り入れたものです。

■長期未払金 152億円(28億円増)

PFI事業である総合研究棟V(桂)、福利・保健管理棟(桂)、及び総合研究棟(南部)の整備ならびに農学部総合館(北部)の改修にかかる未払金です。

■利益剰余金 142億円(37億円増)

16～18事業年度の当期総利益の累計額で、経営努力認定を受けた目的積立金約66億円と、それ以外の積立金約76億円からなります(5ページ参照)。目的積立金は、京都大学重点事業アクションプラン2006～2009に沿って、計画的・戦略的に活用していくこととなります(8ページ参照)。